

株式会社 松屋 8月売上速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	概況
銀座本店	-35.6	8月の銀座店は、免税を除く売上高(国内のお客様の売上高)において、秋物新作入荷でラグジュアリーブランドの売上高(前年対比約2割増)が牽引し、その結果、インバウンドを除く売上が前年に対して約1割減にまで迫る勢いを見せる等、強みの商品カテゴリーにおける買上動向に多少の変化が見られました。加えて、外商(法人営業部)では、金製品やテレビ通販での大口特注により売上高が前年に対し2.2倍の大幅な伸びを示す等、店頭外部部門の売上も館全体を加勢いたしました。しかしながら、化粧品、宝飾・時計等を軸とした前年のインバウンドの売上高が全体に大きく影響し、また、8月のクリアランスセールも1割減になる等が要因となり、全体の売上高は前年を下回りました。 8月の浅草店は、主力となる食品がやや苦戦する中、化粧品の特注が全体を強く牽引し、売上高減は銀座店に比べ軽微に留まりました。

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

※ 「8月売上報告」は、9/14(月)15時の開示を予定しております。

(ご参考)

銀座店	-36.7	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	-18.9	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。